保健センターだより

■市保健センター（☎64−7713）
■有明保健センター（☎68−5335）

「インフルエンザ菌b型（Hib＝ヒブ）」予防接種

市では、平成21年9月1日から、乳幼児の細菌性髄膜炎の予防ワクチンである「インフルエンザ菌b型（Hib＝ヒブ）」ワクチンの接種費用の一部助成を行っています。

※Hib＝ヒブワクチンは任意予防接種で「インフルエンザ」を予防するワクチンではありませんので注意してください

▼**対象者**　市内に住所を有する生後2カ月以上満5歳未満児

▼**実施場所**　市内の（Hib＝ヒブ）ワクチン実施医療機関（要予約）

▼**接種回数**
・接種開始が生後2カ月以上7カ月未満児…通常4週間から8週間間隔で3回接種、1年後1回接種
・接種開始が生後7カ月以上1歳未満児…通常4週間から8週間間隔で2回接種、1年後1回接種
・接種開始が満1歳以上5歳未満児…通常1回だけ接種

▼**自己負担額**
・生後2カ月以上満1歳未満児…1回当たり3500円
・満1歳以上5歳未満児…1回当たり4000円

※生活保護世帯者は無料です

▼**持参する物**　健康保険証、母子健康手帳

※生活保護世帯者は市が発行する証明書が必要です

ポリオ（急性灰白髄炎）予防接種

ポリオは「小児まひ」とも呼ばれ、主に四肢の麻痺をおこす恐れのある病気で、人から人へ感染します。感染しないためには予防接種が有効で2回投与が必要です。今までに1回投与を受けた人は、今回2回目の投与を受けましょう。

今回初めて対象となる人には、通知をします。

▼**対象者**　生後3カ月から7歳半未満の人

※なるべく1歳6カ月までに済ませましょう

▼**場所および日程**
・市保健センター…9月7日㈫・10日㈮・14日㈫
・有明保健センター…9月3日㈮

▼**受付時間**　13時10分から13時40分まで

▼**接種費用**　無料

▼**持参する物**　母子健康手帳、予診票

はつらつ健康講座の開催

高齢者の健康保持・増進を支援するため理学療法士・歯科衛生士による「健康講座」を実施します。

▼**とき**　11月1日から平成23年2月28日まで

▼**ところ**　地区公民館や自治公民館または保健センター

▼**対象者**　65歳以上で5人以上の団体

▼**内容**　次のどちらかの講座を選択して申し込んでください

①理学療法士による運動機能の維持・向上および転倒予防に関する講話と体操
②歯科衛生士による口腔機能の維持・向上に関する講話と口腔ケアの実習

▼**申込方法**　市保健センターまたは有明保健センターに備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、市保健センターまたは有明保健センターに提出してください

▼**申込期限**　9月30日㈭まで

特定保健指導の実施

▼**対象者**　特定健診の結果、メタボリックシンドロームの危険性が高いと判定された人

▼**内容**　保健師、栄養士などの専門スタッフが、食生活、運動などの生活改善の取り組みをサポートします

※対象となった人には、個別に通知します

9月24日〜30日は結核予防週間です

結核は現在でも全国で毎年2万5000人が新たに発病している国内最大級の感染症です。

県内では、年間約350人が発病し、全国で3番目に結核が多い県となっています。

結核は、早期発見・早期治療が重要です。年に一度は必ず健康診断を受け、咳・微熱などが2週間以上続くときはすぐに医療機関を受診しましょう。

また、乳児が結核に感染すると重症になりやすく、生命を危ぶむことすらあります。結核を予防するために、生後6カ月までにBCG接種を必ず受けましょう。

詳しくは、県南保健所（☎㊷3289）へ。

献血にご協力ください

病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、日本赤十字社では、16歳から69歳までの健康な人に献血の協力をお願いしています。

※65歳以上の人の献血は、献血する人の健康を考え、60歳から64歳までのあいだに献血経験がある人に限ります。

◆献血にご協力いただいた人には生化学検査成績や血球計数検査成績について通知します。

◆毎月、献血バスが市内を巡回します。詳しい日程は電話で問い合わせてください。

けんけつちゃん